

北海道遺産
Hokkaido Heritage

北海道遺産・北見市指定文化財

ピアソン記念館

第97号

2021. 3. 31

ピアソン便り

発行人：吉田 邦子（理事長） 編集人：伊藤 悟（理事）

NPO 法人ピアソン会事務局

（事務局長 伊藤 悟）

〒090-0036

北見市幸町7丁目4番28号

Tel. FAX 0157-31-1215

ピアソン記念館内

午前9:30～午後4:30

e-mail アドレス

pierson@yacht.ocn.ne.jp

投稿

ピアソン夫妻の年譜から拾う

三月、四月にまつわるあれこれ

文責：北原俊之

■年表（時間順）

- 1862（文久2）年4月21日
ピアソン夫人 生まれる
- 1888（明治21）年4月25日
東京派遣決定喜び礼状はがき
- 1901（明治34）年3月
ピアソン宣教師北光社を初めて訪問
- 1914（大正3）年4月25日
ピアソン邸設計図完成
- 1937（昭和12）年3月12日
ピアソン夫人 召天
- 1940（昭和15）年3月28日
メアリー・H・ピアソン逝去
- 1940（昭和15）年4月15日
デイヴィッド・H・ピアソン逝去

三月十一日

一九三七（昭和十二年）
ピアソン夫人 召天

ピアソン夫人忌

三月はピアソン夫人ことアイデア・ゲップ・ピアソンさんが召天した月です。百年程前の、北見で、北海道で、日本での働きは、とても大きな成果と影響を私達にもたらしていることを、私達は充分に理解出来ていないかも知れません。

在りし日の夫人に思いを馳せて、その労苦に感謝したいものです。

■訃報を伝える新聞記事

元日本派遣宣教師が亡くなる

イーストン市出身で、四〇年間日本で長老派宣教師を務めたミセス・アイデア・ゲップ・ピアソンさんが、昨日、七五歳の誕生日を目前にして、フィラデルフィアの自宅で亡くなりました。

ピアソンさんは、一八八三（明治16）年、ニューヨーク市のノーマル・カレッジ（現ハンター・カレッジ）を卒業し、その後、宣教師の道に進みました。

一八九〇（明治23）年日本の東京にあるセント・マーガレット女学校で教職に就き、五年後、同じく日本で宣教師をしていたジョージ・P・ピアソンさんと結婚しました。一九二八（昭和3）年宣教師の任期を全うしてフィラデルフィアに戻りました。

故人は、イーストン在住のラファイエット大学一八五一年卒のマックス・ゲップ弁護士のご令嬢でした。弟のR・マックス・ゲップ

医師が遺族として存命です。本日、葬儀のあと、引き続きニュージャージー州オレンジのローズデール墓地にて埋葬が行われました。ペスレーム市の「ゲップ通り」は、ゲップ家の故人のかかりから名付けられたものです。

※傍線部は、原文のママ、明らかに誤りです。

『モーニング・コール』紙 6面

1937（昭和12）年3月14日（日）
※ペンシルベニア州アレクサンダー市の新聞

★ピアソン夫人が人生の最後を過ごした家は後述します。

三月二十八日

一九四〇（昭和十五年）年
メアリー・H・ピアソン逝去実家を守つて守つていた
ピアソン宣教師の妹

ピアソン宣教師の御兄妹で末っ子のメアリーは、兄ジョージの死の翌年亡くなっています。

■訃報を伝える新聞記事

メアリー・H・ピアソン

葬儀は、明日午後、生前の住所地ノース・ブロード通り962番地の自宅にて執りおこなわれます。彼女は、長年の病の末、木曜日夜（3

月28日）に逝去しました。

ピアソンさんは、教会献堂以来の長きにわたりエリザベス市のウエストミンスター長老派教会の会員で、教会の諸行事に長い間強い関心を示していました。元来健康状態が良くなり積極的に参加できない状態ではありましたが、しかし、彼女はたくさんの方々の慈善活動をもくもくと行っていたことがよく知られています。

故人の遺族としては、同じ住所に住む兄のデイヴィッド・H・ピアソン・ジュニア、他に、※ウィリアム・S・ビゲロー氏の夫人とその娘で姪のミス・キャロライン・ビゲローがいます。また、別の兄で海外派遣宣教師を退職したジョージ・ペック・ピアソン牧師は、昨年夏に亡くなっています。

※参考

ウィリアム・S・ビゲロー氏の夫人

Caroline Peck Bigelow 1865-1942

夫 William Smith Bigelow 1867-1930

娘 Miss Caroline Bigelow 1890-1955

『ヒルサイド・タイムズ』紙6面

1940（昭和15）年4月4日（木）

※（エリザベス市の北に隣接する）ヒルサイド市の新聞

三月

一九〇一（明治三十四）年
ピアソン宣教師が初めて北光社を訪れる（北見教会史年表）

ピアノンさんの記述は無いもの 創立時を伝える貴重な記録

ピアノンさん最初の北光社伝道について記述された文書を未だに見つけられていませんが、その頃の状態を語っているのは現在のところ次の記事が唯一です。

『福音新報』掲載の記事

「北光社近況」

北光社農場の所在は北見国常呂郡クンツク「クンネップ」原野にあり、同農場は嘗て坂本直寛、澤本楠弥氏等の発起にて理想的の大楽園を造る目的を以て去る明治廿九「三十」年の頃此処に開始せられたるものなるも、其後種々の困難に遭遇、礼拝も僅々三、四名のもの集会するに過ぎず、教勢次第に衰運に傾きつゝ、ありし折柄、

昨年「明治33年」六月福島県飯坂「長岡」教会牧師市村竹馬氏両親見舞の為農場に赴き、暫時滞在して微弱なる信徒を扶け大いに伝道に力を尽くされ、其れより引き続き網走聖公会伝道師岡村豊三郎氏毎月十日間出張伝道さるる事となり、爾後熱心に働かれたる結果、新求道者続々起り来り、「明治34年」去月廿四「六月二十」日には聖公会監督「ファイソン」及びラング長

老「司祭」の二氏赴かれ其拾四五名の信徒を得たり、尚感すべき話は同地を距る二里許りの処にある二家族にて風雨霜雪の日と雖も絶えて日曜日の集會に欠席したることなく或雪中に老父母を轎に乗せ常に乗せて會堂に集まる等非常に熱心で現に戸田安太郎氏一家族七名「安太郎のみ」受洗し晚餐の禮典を守り一同大いに警醒し、目下毎日曜日集會大抵式参拾名の出席者あるに至り、日曜学校をも開始して居り、亦婦人會を組織せられ毎月第二土曜日に祈禱會を聞き終りて裁縫其他の手芸をなして教會の為に尽力するなど頗る希望の有様なりと云ふ。

『福音新報』紙・明治34年8月21日付

『荒れ野に 花咲かすもの』北光社移民、市村一族の軌跡』(田村喜代治編著 1998)より

註

・ Bishop Philip Kemball Fyson

(1846 ~ 1928 : 在日 1895 ~ 1908)

北海道全体を伝道

・ Rev. David Marshall Lang

(1862 ~ 1946 : 在日 1890 ~ 1920)

当時は釧路に駐在していた

.....

参考事項：『福音新報』の記事の背景には、次のような事実があったようです。

・ 来訪した市村竹馬牧師が、北光社信者の困難を憂い、北見を離れる際、網走の聖公会に依頼して後を託した。

・ 網走聖公会は、網走監獄の川向(大曲)

にあったマッチ製軸工場内であった。当時、北見國、釧路・根室・国後・択捉など、十勝、上川、宗谷は、聖公会が釧路を拠点として活発に伝道を行っていた。米國改革派のミラー宣教師の報告(1902)に「.....これら全ての土地で伝道の主戦力は聖公會の手に委ねられています。.....」との記述。

四月十五日

一九四〇(昭和十五年)年

デイヴィッド・H・ピアノン逝去

ピアノン宣教師の兄

有名銀行の副頭取

訃報を伝える新聞記事

デイヴィッド・H・ピアノン

隠退銀行役員

ニューヨークのマンハッタン銀行の副頭取として退職したデイヴィッド・H・ピアノンさんが、月曜朝「四月十五日」、病氣のため逝去しました。姉メアリー・H・ピアノンさんが6週間と18日前に亡くなったばかりでした。彼も姉も共にノース・ブロードストリート926番地の住宅に住んでいました。

ピアノンさんは、エリザベス生まれで、『Sons of the American Revolution, Elizabethtown Chapter 1』(1903年設立)の最後の設立メンバーでした。『Elizabeth Town

北海道新聞 2021年(令和)

ハッカグッズ寄贈 記念館持続に意欲

ピアノン会、市に活動報告

北見市のピアノン記念館を拠点に、ハーブを活用したグッズづくりなどに取り組むNPO法人ピアノン会ハーブ部会(島南幸子部会長)が22日、辻直孝市長に活動を報告し、ハッカのリースなどをプレゼントした。

同部会は2015年に発足し、会員は8人。同館の敷地にハーブを植え、ハーブを使ったリース作り講座を開くなど、同館のPR活動を行っている。

この日は一人が市役所を訪れ、市内で採取した3種類のハッカで作ったリースやポプリ、せっけんを贈呈。会員でハーブインストラクターの増井五夜(さん68)が「今後もハーブを通じてピアノン記念館を持続させる力添えをしたい」と語った。

辻市長は「ピアノン記念館は市の大事な遺産。皆さんと一緒に守っていきたい」と話した。(本郷由美子)

北見産の3種類のハッカで作ったリースを辻直孝市長に寄贈する増井五夜(さん)

新市庁舎へ市長表敬!

2021年2月22日の月曜日の午前11時に、新しく建てられた市庁舎へ、ピアノン会ハーブ部会の会員7名で市長の表敬訪問を行いました。一昨年のエリザベス市との交流事業で、姉妹都市交流の原点であるピアノン記念館に訪問団をお迎えした時、辻市長と共に「おもてなし」をした7人のメンバーでの訪問です。会員作成オリジナルの地元和ハッカリース(厄除け)のプレゼントを持参し、市長にお渡ししました。その後、しばらく姉妹都市交流談義に花を咲かせ楽しいひと時を過ごしました。



and Country Club』の初期メンバーの一人だった。『Bachelors Club of Elizabeth (独身会)』の最年長のメンバーでした。また、エリザベス市のウエストミンスター長老派教会の会員でした。彼は、長年銀行業務に携わり、一〇年前に銀行経営者として退職しました。近親者で僅かに生存しているのは、姉のウィリアム・S・ビゲロー氏夫人と、姪のミス・キャロライン・ビゲローです。弟のジョージ・ペック・ピアソン牧師は昨年逝去しています。

※傍線部は、明らかに記事の誤りである。

『ビルサイド・タイムズ』紙6面
1940(昭和15)年4月18日

四月二十一日

一八六二(文久二)年

ピアソン夫人 生まれる

ピアソン夫人
生誕一五九年

ピアソン夫人ことアイダ・ゲップ・ピアソンさんは、一八六二(文久二)年四月二十一日、ペンシルベニア州リーハイ・バレー地区、イーストン市で、父チャールズ・ゲップ、母マーサ・カウブランドの三女(下に第二人)として生ま

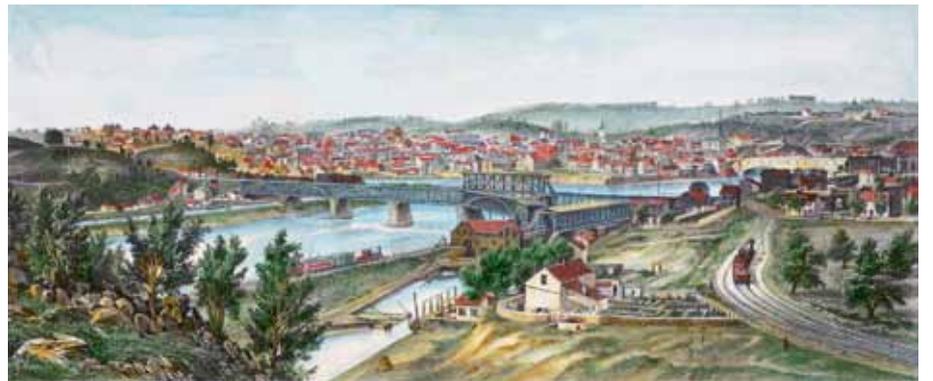
れました。ゲップ家は、隣町ベスレヘムに入植したモラビア教会(同胞団)の重鎮で、父チャールズは一時牧師をめざしましたが、後に法律を仕事にするためイーストンに住んでいました。アイダが生まれてまもなく、一家はニューヨークに転居しているようです。その後も転居を重ねて母は、フィラデルフィア16番通り南11で亡くなっています。

■イーストンのどこの住所で生まれたか

国勢調査記録を見ても、更に詳しい地番などは不明です。が、ゲップ家の隣には、未亡人が多数記録されているので、未亡人集合住宅か何かがあったかもしれません。あるいは、父がそういう施設と関係があったのかもしれませんが。

また、当時の地図を見ると弁護士は市庁舎の周囲に住んでいる様子なので、ゲップ家も、市庁舎に近い場所(「中心部」)に住んでいたのではないかと推測されます。

▼下の俯瞰図は、ピアソン夫人が生まれる直前の頃一八六〇年のイーストンを描いたものです。一八六〇年のイーストンの人口は八九四四人です。



四月二十五日

一九一四(大正三)年

ピアソン邸設計図 制作月日

ピアソン夫妻の手柄を表す

ピアソン邸図面

歴史の変遷を経て、市民の熱い要望が実り、ピアソン邸が1971(昭和46)年5月31日に、

ピアソン記念館として公開されるようになったが、元々誰の設計により建てられたものであるのかわからなかった。しかし記念館として公開されて25年目の年に、ある来館者の見識により、大阪にピアソン邸の設計図面が保存されていることが判明しました。有名なM・ヴォーリスが設計した建物であったのです。

図面の随所に、ヴォーリスがピアソン夫妻をどれほど敬愛していたか、そして思いやりに溢れた設計である事を窺い知ることが出来ます。極寒の北の地に住む老夫婦と、その館を訪れる婦人や子供達が活動しやすい間取りなど、住む人、訪問する人、その土地の長所・短所などを考慮した建物、その設計図面は、ピアソン夫妻へのヴォーリスからの贈り物だったと思われま

す。1995(平成7)年以降、ピアソンとヴォーリスの親交について調査を重ねた結果、いろいろなことがわかって来ました。ピアソン夫妻とヴォーリスとの出会いは、軽井沢であったと想像できます。1910(明治43)年のヴォーリスの住所録に、旭川在住のピアソンの名が残されていますし、ヴォーリスによる旭川教会建設計画案の図面も見つけることができました。この建設計画は旭川教会の坂

本直寛牧師の病氣療養で実現には至りませんでした。

ピアソン夫妻の手柄が残してくれた幅ひろい人々のネットワークを各種の資料から知ることが出来ますが、その一つとしてピアソン邸も生まれたのです。(伊藤/記)



※ヴォーリスの設計図面の1枚。設計の日付が1914(大正3)4月25日と記されている。

四月二十五日

一八八八(明治二十一年)

東京派遣決定

ピアソンの礼状はがき

喜びと感謝、決意のはがき

ピアソンさんが日本へ宣教師と

そこで4年間勤めたあと、長老派海外伝道局本部書記に選出され、その職に13年間奉職しました。彼がこの職に選任されたのは、彼の優れた能力を評価されたためだけではなく、一人の牧師として充分熱意を持つ一方で、海外伝道事業に対してひたかたならぬ関心と熱意をもっていただけでした。彼は、

牧師としてギレスピーは愛されてきました。「彼は、あらゆる信者に誠実な態度でしたが、それは彼の心の奥の気品から溢れてくる生に対する優しさを持っていたからです。ギレスピー牧師のような、悩める人がすぐにも行ってみたくなるような人、あるいは、優しく迎え入れてくれたり、励みになる癒やしを与えてくれるような人は、かつて存在したことがないと思います。」

また彼は、宣教師を統括する立場の人ですから、時には順風満帆にすすんでいる中で友人となり、また時には

逆境のなかにある宣教師たちの友人となつて、その友人達に会うため彼が訪問するあらゆる集会には活力と光明がもたらされるのです。神学博士D.D.の学位はウースター大学から授与されました。彼は、1899年2月16日、ニュージャージー州エリザベス市で、60歳で亡くなりました。葬儀は、(まず2月)18日にエリザベス市で行われ、(次いで)20日には、彼の人生と業績を記念した式がイースト・リバティー長老派教会で行われました。彼は、ペンシルベニア州ピッツバーグ市アレゲーニ墓地に、彼の妻と幼子2人の隣に埋葬されました。彼は2度結婚していましたが、ギレスピー氏とアンナ・メイソン・クイグリーには子供が4人いました。再婚したマチルダ・L・ポールソンとの間には子供が2人いました。

Web 検索
<http://www.usgwarchives.net/pa/1pa/nbqfans.htm>
 History: Family: Part IV - Swope's 1905 MCKINNEY-BRADY-QUIGLEY families, PA.の

Rev. John Gillespie
の訃報・新聞記事

■訃報を伝える新聞記事

《亡くなった方々の名前》
牧師ジョン・ギレスピー博士

牧師ジョン・ギレスピー博士(長老

派海外伝道局本部書記の一人)は、ニュージャージー州エリザベス市の自宅で昨日逝去しました。年齢は60歳でした。ギレスピー博士は、この地域では17年間勤めたイースト・リバティー長老派教会の牧師として数多くの人々によく知られています。その在任中に、要請されて1882年に(同市の)ウエストミンスター長老派教会で牧師となり、そこで6年間勤めるさなか、海外伝道局書記に選出されて、それ以後ずっと書記の事に務め、伝道局の使命のため有為な働きをしました。彼は、ここしばらく健康を害していた、最近では休養のためイースト・エリザベス市にお宅にいました。ギレスピー博士は遺族として4人のご息がいます。ニューヨーク・ポート・イェルビスのジョージ・E・牧師、ピッツバーグのT・H氏、エリザベス市のエリザベス・P嬢とJ・シャルマーズ氏。ご遺体は、埋葬するため当市に運ばれる予定です。

■訃報を伝える新聞記事

牧師ジョン・ギレスピー博士逝去

牧師ジョン・ギレスピー博士は、昨日午後3時に、心臓麻痺により自宅で亡くなりました。スコットランド生まれ。1882年1月ペンシルベニア州ピッツバーグからエリザベス市に招かれ、牧師W・C・ロバーツ博士の後任としてウエストミンスター教会の牧師となりました。1886年彼は牧師職を辞任し、長老派海外伝道本部の書記

■訃報を伝える新聞記事

ニュージャージー州ブリッジウォーター市『クリエ・ニュース』紙：2008年2月17日(金)一面

牧師ジョン・ギレスピー博士が木曜日にニュージャージー州エリザベス市で逝去し、そのご遺体が埋葬のため当市に運ばれることとなります。葬儀は本日午後エリザベス市の長老派教会で行われます。その後ご遺体(と遺物)は、ピッツバーグに向けて輸送され、あす朝に到着し、葬儀屋セイソンが取り扱うはこびとなります。月曜の朝、サムソンの礼拝所で、アレゲーニーの牧師ヘンリー・D・リンゼイ博士の司式により簡素な葬儀が行われ、埋葬は、アレゲーニー墓地のギレスピー家の墓所区画で行われます。

ペンシルベニア州ピッツバーグ市『ピッツバーグ・プレス』紙：2008年2月18日(土)9面



募集!
会報発行スポンサー
 協賛スポンサーを募集。年間1万円の協賛金で、右図スペースを2倍(年6回)掲載。掲載場所は倍の金額か年3回の掲載となります。

教会創立 1900 年

日本キリスト教会 北見教会

主日礼拝・毎週日曜 午前 10 時 15 分
 牧師 森下一彦 (学校法人ピアソン学園北見幼稚園理事長)
 〒090-0035 北見市北斗町 2 丁目 1-30
 TEL/Fax 0157-23-3361 e-mail k.mori64@outlook.jp

「ニュージージーランドからの便り」第26回



ピアノソング顧問
G・ハード氏

2021.1.28

◆ここニュージージーランドでは適度な夏の暖かさを楽しんでいます。先日カンタベリーのクライストチャーチで36度C、アシュバートンでは38度Cと記録破りの気温でした。住んでいるファンガパラオアでは20度後半です。

◆小坂さんの印象的な書がありとうございました。軛(くびき)は英語で“ヨーク”と言います。トラクター導入以前の開拓時代に牛が農耕用に使われていたのを思い出します。それはまた、ヘンデル作曲のメサイアに『わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである』(新約聖書マタイ福音書11:30)と引用されている語でもあります。

2021.1.31

◆ピアノソングの要件で電話をした後のメール…要件が確認されたとの電話ありがとうございました。

◆ちょうどメサイアのコピーに記録してあった覚書を見ていたところでした。パートI合唱18には、マタイ福音書の古い英単語が入っ

ています。メサイアは、母の好きな楽曲の一つでした。聖書の一節がこのように用いられていること、皆さんに興味を感じていただけると思います。

2021.2.14

◆メールと新聞記事などありがとうございました。北見の皆さんがこの寒中にもお元気でありますように。こちらは夏の穏やかな陽気です。



ガリー滝へと向かう道

◆最近、シエークスピア・パーク近くのガリー滝までの林間ウォーキングを楽しんできました。普段

は、ステイツチバード・ヒヒの給餌場まで行きます。ヒヒは希少種で、最近公園へ再放されました。いつも見られるわけではないので、出会えたらラッキーです。小型の鳥で撮影はなかなかですが、この写真の中に一羽いると思えます。もう一枚は、細菌汚染防止柵で、入園する時には靴の土を落と

写真左/ヒヒの給餌場。この中に一羽(右)見えている。



してからです。カウリへの病気が枝先から根元に向かって枯れるのが近頃わかってきました。カウリはニュージージーランドの国樹なので、保護が大切なのです。



写真右/生息する鳥や見られる植物の名が、横木に記されている。



写真右/国樹カウリの保護のため、靴裏の土を完全に除去し、入園する。

2021.3.1

◆快適な夏ですが、今日は、公的には秋の始まりです。もっと雨の欲しいところです。今朝ちよつと降りましたが、地面が湿るにはまだ足りません。

◆最近またオークランド地域で感染症が出ました。昨日朝からレベル3ロックダウンで、少なくとも1週間は屋内に、のようです。今週南のファンガヌイまで行くつもりでしたが、解除待ちです。オークランド地域は、警官が路上で監視しています。

◆漢字は第2水準で、連句も読んでいます。両方ともチャレンジですが興味深く、連句は芭蕉と門人越人による“曠野”です。・全・耕耘機・婉曲・豌豆。

◆北見の皆さんがお元気で、日々暖かくなりますように。

編集後記

97号をお届けいたします。前回の編集後記に100年前のスペイン風邪によるパンデミックとオホーツク地域の状況を、当時の記録を元に簡略に記しましたが、日本での第1回目流行の1918(大正8)年から、その後第2回・第3回と1921(大正10)年3月頃までピアノ夫妻はどのような活動をしていたのか、記録を拾ってみました。1918年11月には東京の内村鑑三宅で夕食を供にしています。翌年の夏は小樽でロース女史追悼5周年に参加。その後軽井沢で長老派教会の全国集會に参加。1920年は、6月に旭川での北海道中会への出席。8月には軽井沢へ。1921年6月には帰米のため北見を離れています。

このように活動そのものには普通と大した変化はないように思えます。また、レポートや手紙などには、スペイン風邪に関する記録を見つけることができず。身近の人々の感染者がいなかったからでしょうか。意外な感があります。

国内でコロナ感染が問題となり始めた昨年の2月に、北見でもクラスターが発症し、どうなることかと心配しましたが、今年は、このオホーツク地域は道内でも発症数の少ない地域として報告されています。感染予防対策が他の地域より優れているからでしょうか? それとも単なる偶然でしょうか? 何れにしても早いワクチン接種が待たれます。

(理事兼事務局長) 伊藤 悟